まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索　オイスカ西日本

第 654 号
平成 30 年 3 月号付録

←Facebook と Instagram に日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！

海外研修生修了式

2月24日、快晴に恵まれ平成29年度の研修修了式を執り行いました。古賀篤衆議院議員、樋口明福岡県議会議長、守谷正人福岡県議会副議長を始め、多くの来賓及び支援者の皆様150名以上に見守られながら厳かな雰囲気の中、式典を執り行いました。昨年4月に来日し、言葉も生活習慣も異なる中、研修生達はそれぞれの目的を忘れず懸命に研修に取り組みました。修了式では最年長のミャンマー研修生、ミャさんが1年間の研修の想いを報告し、懇親会ではそれぞれの研修生による帰国後のアクションプランを発表しました。3月7日にセンターを旅立ち、東京でのプログラムを終えてそれぞれの母国に帰国しますが、今後の活躍を皆が期待していることを実感する式典となりました。1年間研修生のサポート、ご支援を頂きましたことに心より御礼もうしあげます。
ありがとうございました。(廣瀬)

研修生代表スピーチの紹介

私は、ミャンマーのミャと申します。ミャンマーの農業省に20年間務めていました。

日本に来ることが決まって、一番に思ったことが、桜を見てみたいということでした。そして、日本に着いて、福岡空港からセンターまでずっときれいな桜が見れました。とても嬉しかったです。センターでの研修は、私にとってとても良い勉強になりました。農業技術では、有機農業の基本を学び、それぞれの野菜の管理など、これまで勉強してきたことに更にプラスになることばかりでした。 他にもいろいろなイベントや学校へ行って交流したり、見学しました。中でもセンターにお相撲さんがいた1ヶ月は、一番の思い出です。すもうを見るのは、初めてでしたので嬉しかったです。12月は、いろいろな所へ行ってたくさん餅つきをしました。日本人は餅が大好きでよく食べるのでびっくりしました。地元脇山での交流会では、脇山のお父さん、お母さんたちは、いつも私たちのお父さん、お母さんみたいに優しくしてくれました。また、お盆と、お正月には、ホームステイもしました。日本で、たくさんの家族ができました。でも、ここでの生活は、いいことばかりではありませんでした。ミャンマーでは、暑くても、日陰に入ると風があって涼しいです。でも、日本の夏は、風がありません。 汗もいっぱいでとても大変でした。そしてまだ問題がありました。私は、エアコンが嫌いです。暑くても、あまり使いません。でも、一緒の部屋だったタンさんは、いつもエアコンを使いますから、よくけんかしました。ごめんなさい。私たち研修生は、暑いときも寒いときもみんな頑張りました。研修だけでなく熊本や朝倉のボランティアにも行きました。 とても大変な作業で疲れましたが、農家の人が喜んでくれたので、嬉しくなりました。私たちの国も日本からたくさんサポートをもらっているので、少しでもお返しができて、よかったです。(省略)私は、「まわりの人にいいことをするといつか、同じように自分にもいいことが巡ってくる」 と教えられてきました。だから、いろいろな国でたくさんの人のために活動をしているオイスカを私は、大好きです。そして、日本へ来て、そのオイスカをたくさんの人がサポートしていることが分かりました。私たち研修生は、みなさまにたくさんのサポートをもらいました。でも、私たちからは、何もお返しができません。私たちに できることは、これから国に帰って、日本で学んだことや体験したことを少しでもたくさんの人に広げることだと思います。 そして、みなさまにも良いことが巡ってくる といいと思います。(省略)みなさん、1年間本当にありがとうございました。また会えると嬉しいです。

ご協力ありがとうございます！

(平成30年1月26日～2月26日、敬称略)

新入会:医療法人産科婦人科宮原クリニック、
墨谷信良
☆新入会、随時募集中です！！

寄付金: 佐賀県有明海漁業協同組合、八江農芸(株)若竹保育園、(一社)佐賀県建設業協会、(株)月華荘、特定非営利活動法人らいふステージ、(株)十八銀行、(株)戸上メタリックス、佐賀県農業協同組合中央会、中村造園(株)、佐賀県商工会議所連合会、(株)堀内組、(有)マキイ、(株)スエオカ、(株)九電工、(株)白浜工業、協和機電工業(株)、(株)ゼンリン、ライオンズ国際協会、(株)宇治川商店

寄付品:角聡一郎、原田明、榮樹里、櫻井輝美、
末永美裕

鬼木大明神　今月の一句

失敗したところでやめてしまうから失敗になるのだ！

成功するところまで続ければ成功になるのだ！諦めないことだ！継続は力なり

オイスカ西日本研修センター50歳誕生日

2月15日、オイスカ西日本研修センター設立50年の日を迎えました。昨年10月3日に市内ホテルにて記念式典を開催したので、本当の誕生日はセンターにて職員、研修生とで昼食時にお祝しました。1967年に設立以来1400名を超す OB・OG を26の国と地域に送り出し、現地で指導者として活躍し、また、日本との結びつきも強めるための貴重な人材として活動しています。50年の歳月の重みを噛み締め、翌日より51年目がスタートしました。これからの半世紀、より一層活動に力を入れていきます。皆様も一緒に頑張りましょう。
(廣瀬)

誰だか分かりますか？→

3月の予定

1日(木)北九州エコタウン、トヨタ自動車工場見学
3日(土)脇山地区お別れ会
7日(水)研修生上京　☆7時半頃センター出発予定
8日(木)東京都議会議員連盟交流会
9日(金)MUFG 研修生、MUFG 本社にて修了式
10日(土)MUFG 東京地区料理交流会
／エディッタさん、ナダさん帰国
12日(月)オイスカ国会議員連盟50周年式典
13日(火)研修生全員帰国

モンゴル総局ニンジンさん来所

2月2日(金)から4日(日)にかけて、オイスカモンゴル総局事務局長のニンジンさんが研修センターを訪問し、1月中旬から2月末まで短期研修に来ているダリスレンさんの研修先である八江農芸の見学や、モンゴルから来ている技能実習生ザヤ(アイアイディ:酪農)の受入れ先訪問など、短期間でしたが積極的に激励まわりをしていただきました。特に技能実習生ザヤは、モンゴルからはじめての技能実習生という事で大きな期待を寄せており、厳しい冬を過ごし仕事にも慣れた様子で頑張っているザヤの姿を見て安心している様子でした。(豊田)

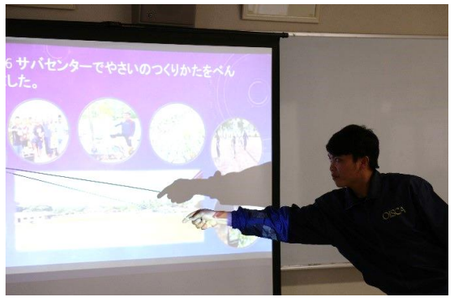
体験農園便り

3月3日(土)、平成30年度の春夏作の開始式が行われます。今期は30組程度の参加者で農園がスタートします。今年で7年目を迎える「体験農園・ふるさと広場」は、今まで多くの方に参加していただき、たくさんの子どもたちが土にまみれながら、収穫の喜びを感じていただきながら成長をしています。去年まで土遊びをしていた子どもが、田植え大会では自分で田植えをするようになったり、収穫を手伝うようになったりと、いつも子ども達の成長には驚かされます。しかし最近では、そのように農園で成長してくれた子どもたちがさらに大きくなって、部活や進学などで畑から距離がうまれ、参加していただいた家族の方が辞められるケースが増えてきています。何だか寂しい気もしますが、大人になってから少しでも農園での思い出を覚えていてもらえたら嬉しいかなと、何だか孫を見守るおじいさんみたいになっていますが、そんな気持ちで新たな農園がスタートします。
(豊田)

焼きいも会の様子

アクションプラン発表会

２月２１～２２日の２日間にわたって、研修生のアクションプランの発表がありました。昨年１１月から始まったアクションプランの作成は、訪日研修の集大成ともいえるもので、日本で学んだ技術や経験を、母国に帰ってからどのように活かしていくのか、その計画をパワーポイントで作り上げていくのです。プランの作成をする過程には、もちろんスタッフがインタビューを行いながら、現地の気候やマーケットの状況などを踏まえたうえでのアドバイスを行っていきます。研修生の中には20代前半の若者もいますが、彼らに対し明確な目標を立てることを指導していくことは厳しいところもありますが、苦労して一緒になってプランを作り上げていく作業そのものが、彼らの将来に必ず役に立つものと期待しながら取り組んでいます。かっこよく言えばアクションプランの作成は、「研修生の心に一粒の種をまく」ということですが、彼らが将来どのような果実をつけるのか、みなさんでしっかりと見守っていきましょう。（豊田）



We love オイスカゴルフコンペ

２月１７日(土)、伊都ゴルフ倶楽部で「オイスカ西日本研修センター設立50周年記念 We Love オイスカゴルフコンペ」が行われました。当日は穏やかに晴れて、１８組６９名の参加者がありました。研修生もスタートホールでの記念撮影やニアピンホールでチャリティのお願いなどのお手伝いをしていました。その結果、136,300 円のご協力を頂くことができました。
多くのご支援ありがとうございました。また、今回の優勝者は板倉冷機工業㈱の板倉一馬様でした。おめでとうございました。 次回は来年２月に行う予定ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。（安東）

外部視察研修

年が明けてから、研修生は帰国前に研修センターでは勉強できない農業機械や畜産などの分野について、ホームスティに出て１週間ほど研修する機会が与えられます。今年は東峰村にある農業機械のお店（ハートフィールドさかもと様）に研修生３人がお世話になり、長崎県の八江農芸株式会社に2名の研修生がお世話になりました。また、日帰り研修で佐賀県多久市にある太田ブロイラーさんで、ブロイラーの飼育方法について勉強する機会もありました。１週間という短い期間ではありますが、帰ってきたときは研修生が一回り大きくなったような気がして、滞在中にいろいろな経験が出来たことが実感できます。日本での研修期間中に、本当にたくさんの方からいろいろなことを学んだ研修生は、母国に帰ってから大きな夢に向かって第１歩を踏み出していきます。（豊田）

BBQ 懇親会

２月１０日（土）、研修生も楽しみにしていたソフトボール大会が、あいにくの雨で中止となってしまい、大会終了後に予定されていたバーベキュー懇親会のみが、研修センター食堂にて盛大に開催されました。参加者は各チームから70名程が参加し、センターで事前に準備し味付けまでしていたイノシシ、シカ肉がふんだんに振舞われ、飲めや踊れやの大宴会となりました。また懇親会の途中には、所長からの指示でエミューの産みたて卵のジャンボ目玉焼きが焼かれ、みなさん大喜びで試食していました。ソフトボールは出来ずに残念でしたが、研修生もいろいろな人と懇親を深めることが出来て大満足の１日でした。（豊田）

ライオンズクラブボウリング大会

２月２日（金）ライオンズクラブのチャリティ行事で、北部九州豪雨災害復興支援ボウリング大会が西新で行われました。センターからは満川先生、アルネル先生、ナラ先生と私、４人、１チームで参加してきて、また、ライオンズメンバー関係者約１５０名参加されました。ナラ先生は初めてボウリングしたので、ブービー賞をもらって、非常にいい思い出ができました。オイスカチームは頑張って楽しくプレーができて、賞品にも恵まれとってもラッキーでした。そして、オイスカ野菜やお米の賞品があって、他のチームの人達と交流して、オイスカの活動を少しでも広げることができて、良かったと思います。（タン）

脇山小学校お別れ会

２月２１日、脇山小学校で最後の交流会が行われました。初めて出会った日から今日まで、田植えや稲刈り、運動会に餅つきとたくさん行事を通して交流してきました。また、小学校の裏にある畑や田んぼで作業をしていると元気な声で名前を呼んでくれたり、挨拶をしてくれ、研修生にとって脇山っ子のみなさんは元気の源でした。脇山小学校のみなさんとお別れするのはとても寂しく、涙する研修生もいました。ぜひ大きくなったら研修生の国に遊びに行ってもらいたいです。脇山小学校のみなさん１年間本当にありがとうございました。（榮）

今年、六年生が学習発表会でパプアニュギニアのバンブーバンドに挑戦し、この日念願のコラボレーションが実現しました。

田隈人権のまちづくり館料理交流会

２月３日(土)に田隈人権のまちづくり館でベトナム料理交流会を行いました。田隈地域の方々17名に参加して頂きました。当日、「コム・タム」、「カン・チュア」、「チェー」と言う3品のベトナムの料理を作りました。3グループに分かれて、グループずつ一品を担当して、レシピを見ながら、作ってもらいました。時々、切り方とか、どのぐらい調味料を入れたらいいのかを分からなかったので、私に「先生」と呼ばれた時は、ビックリして、とても恥ずかしくなりました。皆さんが楽しく料理をしながら、料理の異文化とか新しい味付け方などを学び、いい体験だと思います。そして、料理が出来上がった後、皆一緒に食べながら、ベトナムについての紹介を聞いて、ベトナムのことをもっと理解してもらっていい交流になりました。（タン）

中学生職場体験

２月８日に大野城市の平野中学校２年生３名が職場体験に来ました。今回は、１２月に社員研修でオイスカに体験に見えた、東洋ナビックス様で３日間中学生の職場体験を受けるにあたり一部の社員の方から「オイスカでの体験が良かったので、中学生にも体験させては」との意見が上がり、今回の実施に至りました。前日まで雪が降るなど寒い日が続いていましたが、当日は天気も良く、東洋ナビックス様の社員の方１名が引率で見え研修生と一緒に大根、ニンジン、ホウレン草の収穫など農業体験と研修生との交流、センター内の見学をしてもらいました。短い時間でしたが、有意義な時間だったと思います。元気のいい生徒さんで研修生たちも元気を貰いました。（彦坂）

研修生の紹介コーナー⑧

みなさんこんにちは！私は Sarantungalag Enkhbat です。ニックネームはバットです。モンゴルから参りました！農業一般コースの研修生です。趣味は馬に乗ることです。モンゴルに子どもが2人います。もうすぐ会えるのでとても楽しみです。日本では農業は管理が一番大切だということ勉強しました。モンゴルに帰ったら、ぶどう栽培に挑戦します。うまくいくか分かりませんが、頑張ります！！
１年間、ご支援ありがとうございました。

??バットさんに聞いてみよう☺

☆日本での一番の思い出を教えてください！
→いろいろな経験をさせてもらいましたので、選べません。毎日の農業実習では、モンゴルではしたことのない管理方法を勉強したり、栽培をしました。個人畑では病気になったり、虫もたくさんついて心配でした。休みの日も自転車で畑に見に行きました。美味しい野菜ができた時は嬉しかったです。いろいろな所に見学に行ったことも忘れられない思い出です。長崎、佐賀、熊本、鹿児島、山口、広島、愛知、京都・・・。福岡県でもいろいろな所に行きました。本当に全部覚えているし、ずっと忘れません。
いつもサポートしてくださり、優しくしてくださった皆様に感謝します。ありがとうございました。是非モンゴルに馬に乗りに来てください♫

みなさん、こんにちは！Boniface Nara です。ニックネームはナラです。パプアニュギニアから参りました。指導者育成コース（15カ月）の研修生です。42歳です。趣味はギターやピアノを弾くことです。私は9年前、オイスカ中部日本研修センターで1年間、農業研修を受け、帰国後はオイスカラバウル研修センターで働いていました。今回は指導者育成コースで、研修しています。農業研修生とシュガーさんはもうすぐ帰りますが、私は6月に帰る予定です。

??ナラさんに聞いてみよう☺

☆この1年、勉強になったことは何ですか？
→バットさんと同じように、有機農業の管理方法です。パプアニューギニアでは管理をあまりしないので大変いい勉強になりました。それから、時間を守ること、早めに行動することを学びました。パプアニューギニアでは時間がゆっくりです。日本人はいつも5分前に行動します。
それは、私にとって難しいことですが、この1年で身に付きました。時間を大切にすることは、とても良いことだと思います。パプアニューギニアでもそのようにしたいです。

オイスカ推進協議会ご紹介コーナー

今月は北九州推進協議会のご紹介です！！

オイスカ北九州推進協議会は平成１８年にオイスカ北九州支局として発足し活動がスタートしました。平成２３年２月１日には内閣府より「公益財団法人」として正式に認定を受け、オイスカ北九州支局からオイスカ北九州推進協議会と名称を改めました。発足以来海外支援活動を中心にフィリピン共和国ディポログ市へ清掃車を寄贈、またフィリピン南部地域災害の危機管理の救命ボートの支援活動をはじめ熱帯雨林再生の植林活動を行ってまいりました。国内においては北九州エコライフステージの出展や若松区響灘での植林活動、またアジアの子供の森親善大使を北九州市にお迎えして北九州市の小学校での交流を行ってまいりました。今後も「地球環境考え教育と開発を推進する」をテーマに国内外において積極的な活動を展開してまいります。皆様のご支援よろしくお願いします。

救命ボート１８台を寄贈
寄贈先：フィリピン共和国ミンダナオ島
ディポログ市

清掃車３台を寄贈
寄贈先：フィリピン共和国ミンダナオ島
ディポログ市

北九州エコライフステージ出展
（於：北九州市役所周辺）

鳥がさえずる緑の回廊植樹会
（於：北九州市若松区響灘地域）

オイスカ北九州推進協議会
会　　長：藤 澤 博 基
事 務 局：〒807-0865
北九州市八幡西区美吉野町 10-37
電　　話：093-601-6921
事務局長；中 村 恭 子